



内閣サイバーセキュリティセンター  
National center of Incident readiness and  
Strategy for Cybersecurity

資料 3

# 2015年度 分野横断的演習について

2015年7月17日

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)

# 第3次行動計画における「障害対応体制の強化」

## ○ 目的

分野横断的演習をベースに、IT障害対応に関する能力向上及び検証を目的とする他の演習・訓練との連携・役割分担を行うことにより、重要インフラ全体の防護能力の維持・向上を図るもの。

## ○ 概要

分野横断的演習、セプター訓練、その他の重要インフラ所管省庁等が実施する演習・訓練と相互の位置づけの明確化及び連携・役割分担を実施。

また、NISCの施策である「安全基準等の整備及び浸透」、「情報共有体制の強化」等に対し、分野横断的演習等で抽出された課題をフィードバックし、各施策の改善を図るなど相互の連携を実施。



重要インフラ防護能力の維持・向上

# 分野横断的演習が目指す成果と今年度の取組

## 分野横断的演習が目指す成果

<第3次行動計画が目指す方向>

- 分野内外の事業者等やサイバー空間関連事業者等との依存関係が強くなる中、重要インフラ全体の防護には、**全体の対策水準の底上げ**や**関係主体間の連携の維持・強化**が重要。

<第3次行動計画において分野横断的演習で目指すこと>

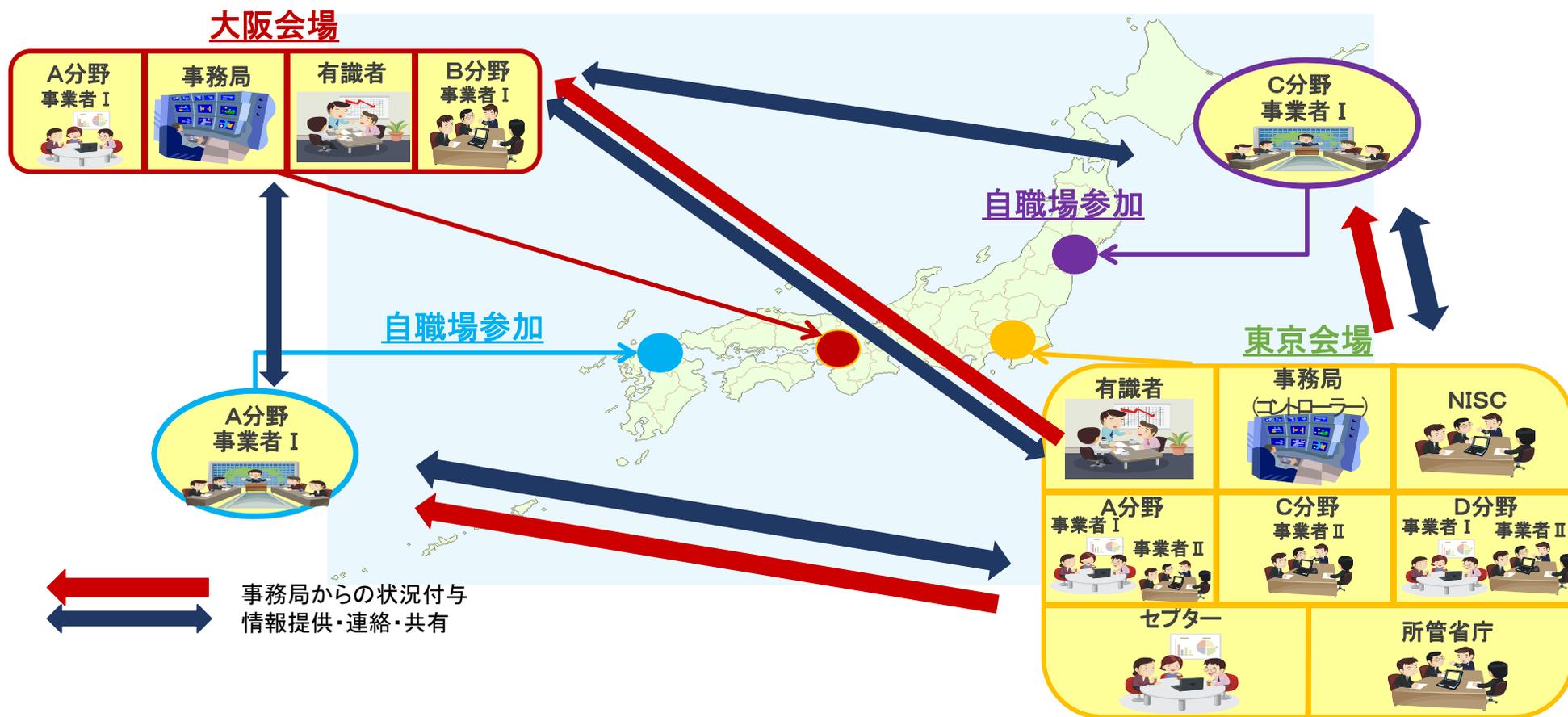
- 重要インフラ全体の防護能力の維持・向上を図るため、**事業者等による**情報セキュリティ対策の実施及び実効性確認等を通じた障害対応能力の向上を目指す。
- **国は**、この取組が事業者等によって自律的かつ継続的に行われるよう支援。

## 今年度の取組

2014年度分野横断的演習で決定した基本方針・取組の方向性を踏襲しつつ、以下観点の**改善**について検討

- 事業者等の**内規の策定・見直し**や**対策の実施・改善**に資する運営の見直し・追加に係る検討
  1. 2014年度分野横断的演習参加者に対するフォローアップアンケートの実施
  2. 事業者等の自律的かつ継続的な取組に資する、演習当日以外の取組の充実・強化
  3. 集合会場参加と自職場参加との併用策等、実践的な演習に資するモデルケースの提示
- **参加対象の裾野拡大**に資する会場新設・既存会場等の改善に係る検討
  1. 大阪会場の拡充（2014年度：30名程度 → 2015年度：60名程度〔予定〕）
  2. 地方会場新設に向けた調査検討の実施
  3. 事前説明会の動画配信
- **情報共有体制の実効性の向上**に係る検討・運用見直しへの支援

# 【参考】2015年度の演習実施形態（イメージ）



## サブコントローラー

